

2014年4月号

衣類のお手入れ通信

新入学生の制服姿がまぶしい4月。新しい学校、新しい職場、新しい出会いに、ちょっと緊張した面持ちながら、はつらつとしたその様子を見ると、なんだかこちらまで良い事がありそうな予感がするのは私だけでしょうか。つい、心の中で「ガンバレ!」とつぶやいてしまいます。新年度、清々しい季節ですね。

【家庭内のこんな薬品にご注意下さい!】

家庭でなにげなく使われている洗浄剤の中には、含まれている成分によって、衣服を脱色させてしまうものがあります。その主なものは

衣類用塩素系漂白剤 2.風呂用カビ取り剤 3.トイレ用洗剤 4.台所用漂白剤このような漂白効果が非常に高い洗浄剤には、次亜塩素酸ソーダ、次亜塩素酸ナトリウムといった成分が高濃度で含まれており、綿や麻などのような天然繊維だけではなく、レーヨン、テセル、キュプラといった、一般に色落ちしにくいといわれる合成繊維さえも色が落ちてしまう恐れがあります。

このような薬剤は、高熱を加えると漂白効果が非常に高くなります。そのため、付着していることに気付かないままご家庭で蒸気アイロンを当てたり、私どものようなプロが使うプレス機の蒸気熱が加わったりしますと、付着した部分が一気に脱色してしまいかねません。

気を付けているつもりでも、掃除や洗濯のときには意外と衣服に洗浄剤が飛び散るものです。そこでこれらの洗浄剤を使った後は、着ていた服をすぐに弱アルカリ洗剤で洗って、十分にすすぐことを心掛けていただきたいと思います。漂白剤は水溶性なので、付着してもその後すぐに水ですすげば問題はありません。最近はエコを心掛ける人が増えて、節水・時短をウリにした「一度すすげばOK」という洗剤が出回っています。しかし上にあげたような漂白効果の強い洗浄剤を使用したときは、念のためもう1回余分にすすぐことをおすすめします。

また、ドライクリーニングでしか洗濯できない服に付着したときは、ご家庭で無理をせずに私どもにお任せ下さい。製品によっては取り返しの付かない事になるケースもあります。その際はどの部分に漂白剤が付いたかを教えていただければ、プロの腕で取り除くことも可能です。先ずはご相談下さい。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6

TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博